

社会資本総合整備計画

市街地再開発事業による本厚木駅南口地区のまちづくり

令和4年3月1日

神奈川県 厚木市

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月01日

計画の名称	市街地再開発事業による本厚木駅南口地区のまちづくり												
計画の期間	平成29年度 ~ 令和02年度 (4年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	厚木市												
計画の目標	市街地再開発事業による土地の高度利用を図り、都市機能の更新や魅力ある都市空間の整備、快適で魅力ある中心市街地における賑わいの創出を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,104	A	1,104	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成29年度当初		令和2年度末
1	市街地再開発事業による中心市街地の魅力や利便性の向上 市民満足度調査によるアンケート結果 「市街地再開発事業に伴う、中心市街地の魅力や利便性の向上について」	52%	%	56%
2	特に一体的かつ総合的に再開発を促進している地区における宅地面積のうち、4階建て以上の建築物の宅地面積の割合を、16%(H29)から96%(H32)に増加 特に一体的かつ総合的に再開発を促進している地区における宅地面積のうち、4階建て以上の建築物の宅地面積の割合 (4階建て以上の建築物の宅地面積の割合) = (4階建て以上の建築物の宅地面積) / (宅地面積計-大規模空地等面積合計)	16%	%	96%
3	特に一体的かつ総合的に再開発を促進している地区における全建物の建築面積のうち、4階建て以上の建築物の建築面積の割合を、36%(H29)から100%(H32)に増加 特に一体的かつ総合的に再開発を促進している地区における全建物の建築面積のうち、4階建て以上の建築物の建築面積の割合 (4階建て以上の建築物の建築面積の割合) = (4階建て以上の建築物の建築面積) / (全建物の建築面積合計)	36%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	厚木市	間接	本厚木駅南 口地区市街 地再開発組 合	-	-	本厚木駅南口地区市街地 再開発事業	商業、業務、住宅等 約0.8h a	厚木市						1,104	1.07	-	
												小計						1,104		
												合計						1,104		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
計画策定主体による評価	令和3年度
	公表の方法
	厚木市ホームページでの公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市民満足度調査における「中心市街地の魅力や利便性の向上」の目標値は達成できなかったものの、再開発事業によって本厚木駅南口の利便性が向上し、満足度の向上が図られた。 ・特に一体的かつ総合的に再開発を促進している地区における4階建て以上の建物の整備の目標は達成することができたため、当該地区における都市機能の更新を図ることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>本厚木駅周辺では、中心市街地の活性化や駅前周辺の建築物の老朽化、歩行者空間の不足などが課題となっている。これらの課題を改善するため、本厚木駅南口の再開発事業を契機として駅周辺の他地区の整備についても検討を進めていきたい。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	市街地再開発事業による中心市街地の魅力や利便性の向上	
	最終目標値	56%
	最終実績値	53%
市民満足度調査によるアンケート結果の「中心市街地の魅力や利便性の向上」について、公共施設の再配置や再開発事業の完了などにより令和3年度までに56.0%となる目標値ではあったが、コロナ禍により中心市街地の空きテナントの増加や多くのイベント等が中止となったことから、目標達成には至らなかった。		
2	特に一体的かつ総合的に再開発を促進している地区における宅地面積のうち、4階建て以上の建築物の宅地面積の割合	
	最終目標値	96%
	最終実績値	100%
3	特に一体的かつ総合的に再開発を促進している地区における全建物の建築面積のうち、4階建て以上の建築物の建築面積の割合	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

(参考図面) 市街地整備

計画の名称	市街地再開発事業による本厚木駅南口地区のまちづくり		交付対象	厚木市
計画の期間	平成29年度 ～ 令和2年度 (4年間)			

